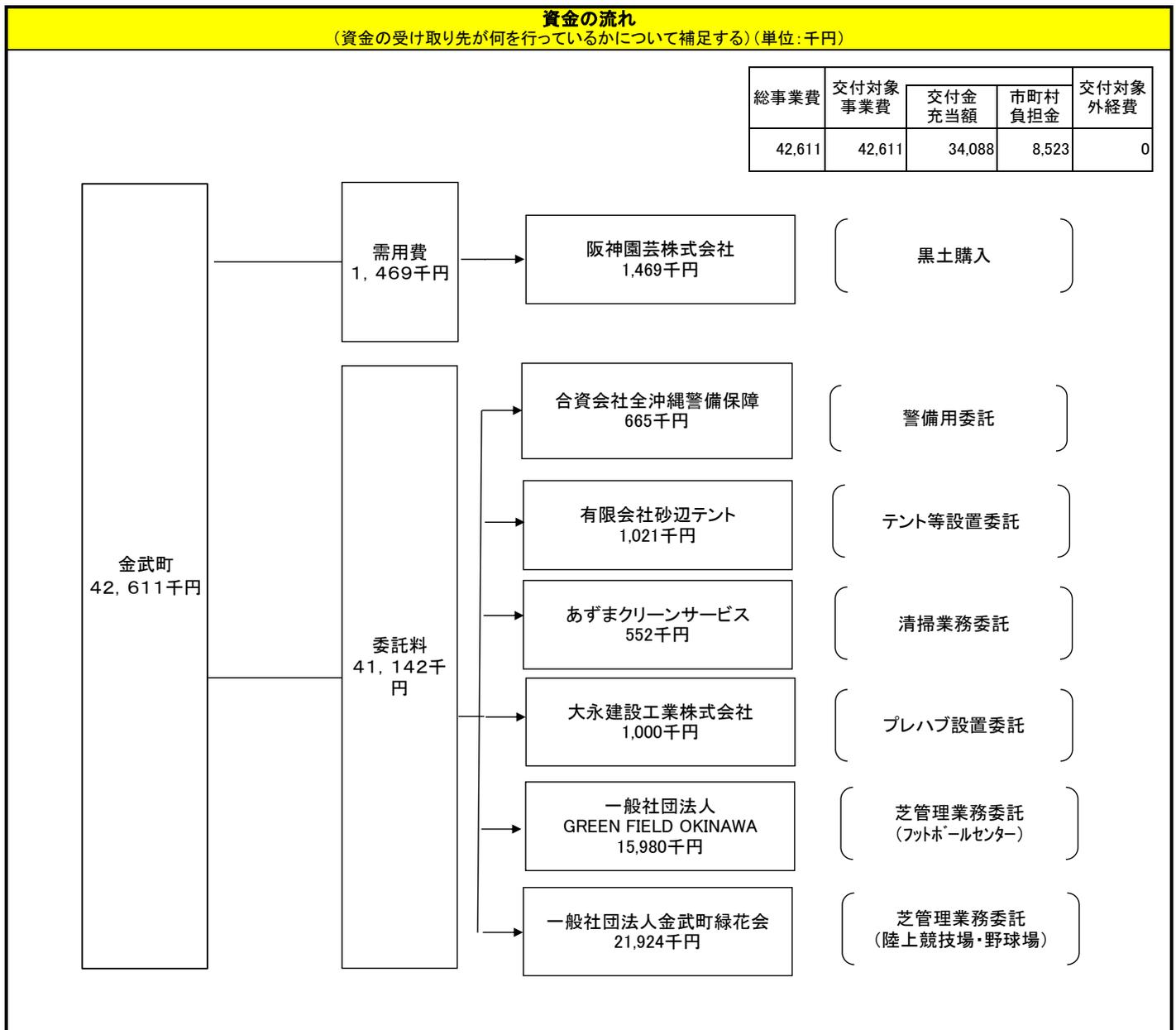


市町村名		金武町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② プロスポーツ受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
	国際的な沖縄観光ブランドの確立		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)		
担当部署名	金武町教育委員会 社会教育課		事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度			
事業内容	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,998	43,777	43,305		
		(b) 予算現額	6,365	42,460	43,208		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 633	▲ 1,317	▲ 97		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	6,365	42,460	43,208		
	B. 執行済額		6,365	42,460	42,611		
	うち交付金充当額		5,092	33,968	34,088		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	98.6%		
予算の状況の説明		プロチームを受入れるために必要な芝管理や黒土の補充によるグラウンド整備等の競技環境の整備、警備や清掃、テントの設置等の受入体制の強化を図った。また、不足する諸室を補うためのプレハブを設置した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	競技環境の整備	目標	( 4チーム )	( 4チーム )	( 4チーム )		
		実績	4チーム	5チーム	5チーム		
	プロスポーツ受入の実施	目標	( 4チーム )	( 4チーム )	( 4チーム )		
		実績	4チーム	5チーム	5チーム		
	見学者受入体制の整備	目標	( 4チーム )	( 4チーム )	( 4チーム )		
		実績	4チーム	5チーム	5チーム		
	プロスポーツキャンプ受入体制の構築	目標	( 4チーム )	( 4チーム )	( 4チーム )		
		実績	4チーム	5チーム	5チーム		
スポーツ教室の開催	目標	( 2回 )	( 2回 )	( 2回 )			
	実績	2回	4回	2回			
達成状況説明	競技環境の整備や受入体制を強化することで、継続した4チームを受入れることができ、さらに1チームを受入れることができた。スポーツ教室については、受け入れ日程の都合で、昨年度よりも減少したが、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	H30年度プロチーム4チームの受入	目標	( )	( 4チーム )	( 4チーム )	( 4チーム )	( )
		実績		4チーム	5チーム	5チーム	
	【参考指標】アマチュアチーム合宿の受入	目標	( )	( )	( 1件 )	( 1件 )	( )
		実績			4件	4件	
	【参考指標】大会受入3大会	目標	( )	( )	( 3大会 )	( 3大会 )	( )
実績				94大会	119大会		
進捗状況説明	当初目標にしていた平成29年度からの継続4チームに加え、プロを受け入れるための受入体制を整えることで、新規チームについても受け入れることができた。また、年間を通して環境整備を図ることで、合宿や大会等での利用も大幅に増加しており、事業の効果が得られていると考える。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	近年、受入チームの定着化が徐々に図られていると感じているところである。チームの本拠地のグラウンド状況の変化(土の固さやブルペンの高さ等)することに伴い、キャンプを受け入れる球場についても同様の整備について要望がある。	今後のより確実な定着化を図るため、必要なグラウンド整備を行い、最善の競技環境を整える。
<b>今後の取り組み方針</b>		
実際に本拠地のグラウンドを整備する業者に、本拠地と同様の整備をしてもらうことで、競技環境を整え、更なる定着化を図る。		



資金の流 れ、 点 検 、 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約で契約したが、金武町財務規則に基づいて契約締結しており、選定方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算計上時の千円未満切捨てによる増額はあったものの、5%未満の減額であり、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	金武町魅力PR事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光誘客および通過型観光客の金武町周遊を図るためパンフレット作成・活用し、金武町の魅力をPRする。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	778				
		(b) 予算現額	778				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	778				
		B. 執行済額	767				
		うち交付金充当額	614				
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	98.6%				
予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、当初の見積もりどおり概ね業務を執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	パンフレットの作成・配布	目標	(パンフレットの作成・配布の実施)	( )	( )	( )	( )
		実績	パンフレットの作成・配布の完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	パンフレットの作成・配布を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(H30年度)	H30年度	H31年度	R2年度	目標値(年度)
	パンフレットの作成・配布完了	目標	( )	(パンフレットの作成・配布の実施)	( )	( )	( )
		実績		パンフレットの作成・配布の完了			
	【参考指標】 平成30年度4月の観光ポータルサイトへのアクセス数	目標	( )	( )	(7,523件)	( )	( )
		実績		6,658件	8,148件		
	【R1成果目標】 金武町フリーWi-Fiの利用件数 102,965件以上	目標	( )	( )	( )	( )	102,965件以上
進捗状況説明		・パンフレットの作成・配布を完了した。 ・【参考指標】は観光ポータルサイトへのアクセス数の増加による金武町の観光ニーズの検証を行った結果、前年度4月のアクセス件数が6,658件であったことに対し、H31年3月末からの配布以降となるH31年4月のアクセス件数が8,148件となっており、22.3%の増加となっている。 当初目標としていた10%増加(7,523件)を大きく上回る結果となり、事業の効果が得られていることが伺える。					

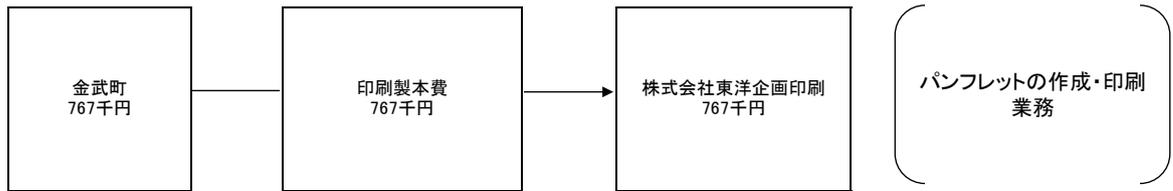
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(パンフレットの作成、観光ポータルサイトとの連動) ・これまで本町においては観光資源を集約したパンフレットの作成が行われておらず、地域の観光情報を集約することに時間を要したが、食、施設、文化等の情報を一冊にまとめ、観光ポータルサイトのQRコードを掲載し連動を図ったことが目標値達成の要因と考えられる。	(パンフレットの作成、観光ポータルサイトとの連動) ・今回、3,000部を印刷し、県内の観光案内所、道の駅等へ配布することができたが、印刷部数が少ないことから増刷して欲しいとの要望があった。また、観光案内所等への設置に際し、部数が少なく在庫の補充ができない為、年間を通して配布することができなかった。今後は印刷部数を増加するための工夫を検討する。

**今後の取り組み方針**

(パンフレットの作成、観光ポータルサイトとの連動)  
・今回の事業を検証し、H31年度においては発行部数の増加を検討し作成したいと考えている。行政において作成するのではなく、今後本町の観光窓口となる金武町観光協会へ作成を委託し、観光誘客を効果的に実現できるよう取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
767	767	614	153	



資金の流 れ、費 用・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○印刷業者は指名競争入札にて選定しており、妥当である と考える。 ○事業の入札における執行率は98.6%であり適正な金額 であると考える。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、 目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

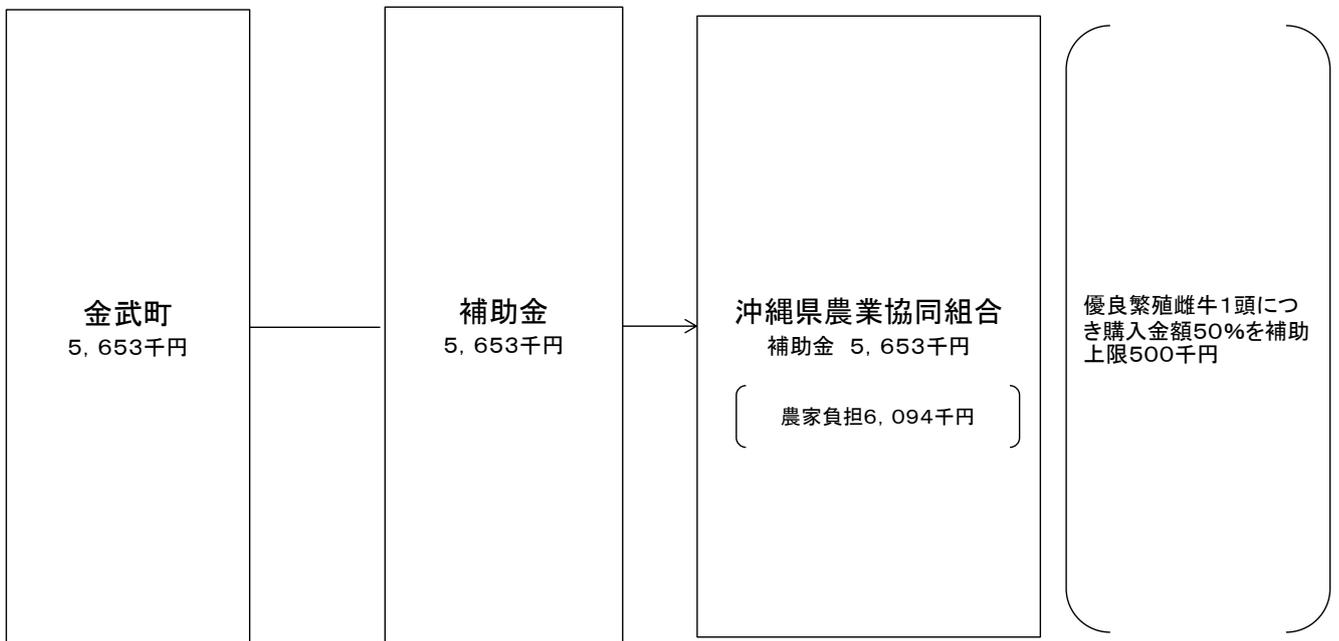
市町村名		金武町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	金武町優良繁殖雌牛導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	安定した素牛生産地の確立のため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		6,000	6,000		6,000		
		5,787	5,789		5,653		
		▲ 213	▲ 211		▲ 347		
		-	-		-		
		5,787	5,789		5,653		
		5,788	5,789		5,653		
		4,630	4,631		4,522		
		-	-		-		
		100.0%	100.0%		100.0%		
予算の状況の説明	当初は優良雌牛導入支援の最大額で予算を計上しており、実績が予算現額のおりとなったため不要な額を減している。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	優良繁殖雌牛の導入支援	目標	( 優良繁殖雌牛の導入支援 )	( 優良繁殖雌牛の導入支援 )	(                    )	( 優良繁殖雌牛の導入支援 )	
		実績	優良繁殖雌牛の導入支援実施	優良繁殖雌牛の導入支援実施		優良繁殖雌牛の導入支援実施	
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
		実績					
達成状況説明	県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛の導入を実施し、当初目標通り達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 約107%	目標	(                    )	(                    )	(                    )	( 107% )	(                    )
		実績				104%	
	【参考指標】優良繁殖雌牛導入頭数(12頭)	目標	(                    )	( 12頭 )	(                    )	( 12頭 )	(                    )
		実績		14頭		13頭	
進捗状況説明	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合が104%となり成果目標を達成できなかった。子牛生産においては、1産目は小さな子牛を生ます傾向がある。一方で2産目、3産目は増し飼いとと呼ばれる方法で胎仔を大きくする。現状では1産目が多く、小さな子牛が多いことがセリ値に影響し成果目標を下回ったと考えられる。今後は2産目以上の産仔が増えることから成果目標を達成してくれるものと考えられる。参考指標の12頭に対して牛の値段や生産基盤の拡充に意欲のある農家との調整の結果、13頭を導入することができた。今後も導入補助を行い、繁殖生産基盤の拡充、強化を図っていく。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	県内外からの優良繁殖雌牛を導入する際に、暑い時期に購入すると輸送途中で熱中症による衰弱や事故死が懸念されている。その為、早めに事業開始を行うために関係機関と連携した事務手続きを行った。	過年度における反省点を活かし、関係機関と連携した事務手続等により、5月から事業開始することができた。

今後の取り組み方針
円滑な事務手続きを行い、和牛改良組合及び関係機関と連携し、引き続き繁殖生産基盤の拡充と強化を図るため優良繁殖雌牛導入を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,747	5,653	4,522	1,131	6,094



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体は、本事業の交付対象要件を満たす団体であり、選定は妥当であると考えている。 ○事業実績や成果目標指数の達成状況を含め、適当な予算規模であったと考えている。 ○受益者の負担は適当な額を負担している。 ○費目、用途について、補助金交付要綱に基づいて確認した結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	金武町就職活動支援補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 Ⅲ-2	
事業内容	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,586	39,670	31,135	30,000	
		(b) 予算現額	24,456	39,670	23,555	24,800	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 11,130	0	▲ 7,580	▲ 5,200	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		24,456	39,670	23,555	24,800	
	B. 執行済額		22,778	29,572	23,500	22,053	
	うち交付金充当額		18,222	23,657	18,799	17,642	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		93.1%	74.5%	99.8%	88.9%	
予算の状況の説明		主な減額理由として人件費において、事務推進員1名が6ヶ月間欠員のため、6ヶ月分の余剰。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	職業相談	目標	(    )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績		実施:287名	実施:402名	実施:325名	
	各種講座の開催	目標	( 1回 )	( 4講座 )	( 4講座 )	( 4講座 )	
		実績	7回	4講座	4講座	5講座	
	企業セミナー	目標	(    )	( 6回 )	( 6回 )	( 2回 )	
		実績		6回	6回	2回	
	キャリア教育	目標	( 1校 )	( 4校 )	( 4校 )	( 4回 )	
		実績	2校	5校	5校	9回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業相談については、平成29年度より77名減り、325名に対して実施した。</li> <li>・各種講座と企業セミナーについては、町内求職者及び各種団体のニーズを確認しながら実施した。</li> <li>・キャリア教育については、町内全校及び各種団体に対してニーズを確認しながら実施した。</li> </ul>						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)		27年度	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	就業率10.7%以上	目標	(    )	(    )	(    )	( 10.7% )	(    )
		実績				10.8%	
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	(    )	(    )	(    )	( 80% )	(    )
		実績				94.6%	
	【参考指標】 就業者目標数	目標	( 10名 )	( 10名 )	( 10名 )	(    )	(    )
		実績	20名	39名	24名		
進捗状況説明	就業率については、利用者への斡旋等を効果的に実施することでマッチングがうまくいき再来者が減少し、雇用拡大につながり、10.8%に達したことから、目標達成をできた。 キャリア教育については、各学校等と連携した結果、達成率94.6%であり、児童生徒が働くことへの関心が高まったと考えられる。						

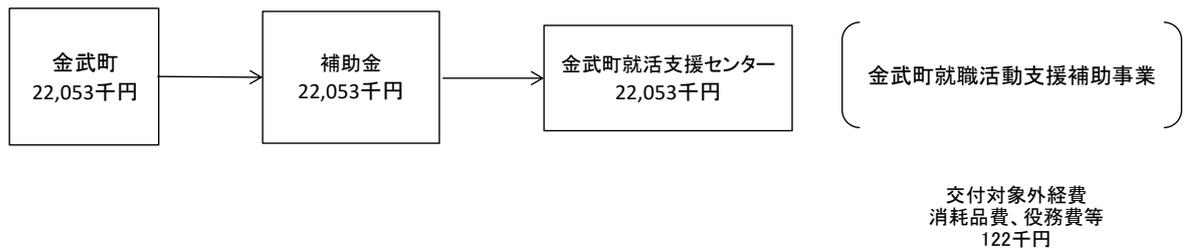
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>平成27年度国勢調査において、完全失業率が7.7%となっており、平成22年度から4%回復している。一方で県の平均値としては6.3%であり、全県的に比較すると完全失業率は高い状況である。この状況を踏まえ、就職活動の支援を継続的に推進し、求職者の就職につながる実用性の高い講座の開設に取り組む必要がある。</p> <p>キャリア教育については、児童生徒が自らの将来を考える上で、働くことへの興味・関心、将来を計画的に取り組む態度を育成する必要がある。</p>	<p>町内の求職者、各種団体等の意見、要望等を踏まえた実用性の高い講座を開設することで就職者数を増やし、町内雇用の拡大に努める。</p> <p>キャリア教育については、児童生徒が社会における自らの役割や将来の生き方を考える機会が増えたことにより、身近な大人等の存在、役割等が大きくなると考えられる。</p>

**今後の取り組み方針**

町内の求職者との相談及び状況等を十分に聞き取り、就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、雇用機会の増大を図る。キャリア教育については、引き続き学校及び各種団体等と連携し、先進的・効果的な取り組みをすることで児童生徒が働くことへの興味・関心を促すことに繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
22,175	22,053	17,642	4,411	122



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金交付規則に基づき適正に選定した。</p> <p>○年度当初から1名推進員の確保ができず、不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 小中学校学習等支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ア		
	担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		確かな学力を身につける教育の推進	
		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)			
事業内容	町内の小中学校へ外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	29,755	36,785		21,840	21,840
		(b) 予算現額	29,755	34,422	18,760	21,840	21,840
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 2,363	18,760	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		29,755	34,422	18,760	21,840	21,840
	B. 執行済額		23,159	33,678	18,370	21,172	21,059
	うち交付金充当額		18,527	26,942	14,696	16,937	16,847
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		77.8%	97.8%	97.9%	96.9%	96.4%
予算の状況の説明		・不用額については、欠勤による減額分が主なものである。配置については全て実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	学習支援員等配置数	目標	( 小学校:5人 中学校:4人 )	( )	( )	( )	
		実績	小学校:5人 中学校:3人				
	日本人英語指導員配置数	目標	( 小学校:2人 )	( 小学校:2人 )	( 小学校:2人 )	( 小学校:2人 )	
		実績	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人	
	外国人英語指導助手配置数	目標	( 小学校:2人 中学校:1人 )	( 小学校:2人 中学校:1人 )	( 小学校:2人 中学校:2人 )	( 小学校:2人 中学校:2人 )	
		実績	小学校:2人 中学校:1人	小学校:2人 中学校:1人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	
	英語コーディネーター配置数	目標	( 教育委員会:1人 )	( 教育委員会:1人 )	( 教育委員会:1人 )	教育委員会:1人	
		実績	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人	
達成状況説明	・町内小中学校に日本人英語指導員2人、外国人英語指導助手4人、英語コーディネーターを1人、合計7人を配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成を図ることができ、また異文化に対する興味、関心を持つ児童生徒が増えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	(小学校) 児童英検(ブロンズ)において、全国平均との平均正答率の差-4%以上。	目標	( )	( 全国平均との差5%以内 )	( 全国平均との差-5%以内 )	( 全国平均との差-4%以上 )	( )
		実績		4.2%上回っている。	-10.1%	2.3%上回っている。	
	(中学校) 英語検定3級において、校内受験者数の合格率23.5%以上。	目標	( )	( 20% )	( 合格率-27%以上 )	( 合格率23.5%以上 )	( )
		実績		21.1%	28%	22.3%	
	進捗状況説明	・小学校児童英検の実施が3回目となるが、全国平均を2.3%も上回る結果となった。また、より上級であるシルバーやゴールドへ挑戦する児童が増えている。 ・中学校においては、合格率が目標数値に1%達しなかったが、中学校においてもより上級である準2級や2級へ挑戦する生徒が増えている。 小・中学校どちらにおいても英語学習に対する意識の高まりを感じる。					

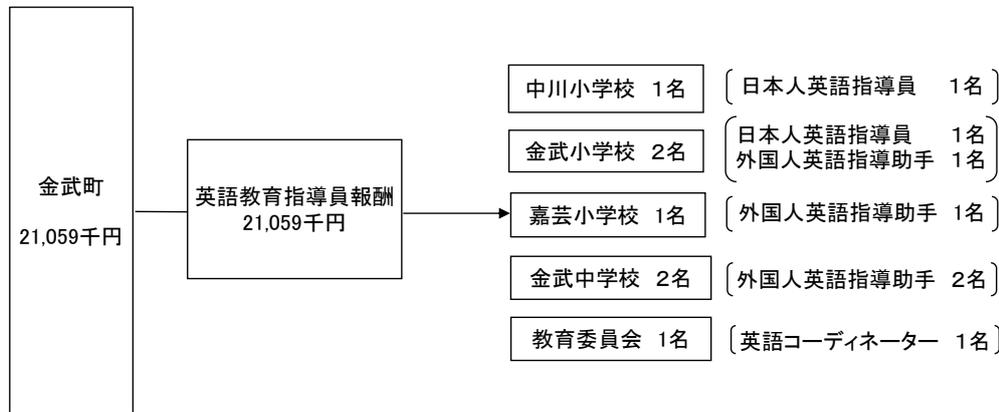
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・町内小中学校の連携した英語学習や、より充実した英語学習の展開。	・町内小中学校が連携した英語学習を展開できるよう英語コーディネーターが中心となり、町内各小中学校への巡回指導、授業について助言、必要に応じて模範授業を行うことで充実した英語学習の展開を図る。

**今後の取り組み方針**

・今後も日本人英語指導員、外国人英語指導助手、英語コーディネーターを継続的に配置し、小中学校が連携した系統的・段階的な英語学習を推進し、国際化を担う人材育成に繋げていきたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,059	21,059	16,847	4,212	0



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○出先、費目・用途については、金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	4-②	幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成 Ⅲ-3
事業内容	保護者の育児における負担の軽減を図るため、預かり保育を実施する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	5,767	6,008	6,008	12,017
	(b) 予算現額	5,767	3,925	3,925	12,017	3,157
	(c) 増減額(b-a)	0	▲2,083	▲2,083	0	17
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)	5,767	3,925	3,925	12,017	3,157
	B. 執行済額	3,721	3,925	3,925	10,659	3,147
	うち交付金充当額	2,977	3,140	3,140	8,526	2,517
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	64.5%	100.0%	100.0%	88.7%	99.7%
予算の状況の説明	当初計画していたとおり事業を適正に実施できたと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	○預かり保育希望園児の受入	目標	(      )	(      )	(      )	( 8人 )
		実績				6人
	【参考指標】 ○預かり保育実施幼稚園:3園	目標	( 1園 )	( 1園 )	( 3園 )	(      )
		実績	1園	1園	3園	
【参考指標】 ○預かり保育嘱託職員配置数:6人	目標	( 2人 )	( 3人 )	( 6人 )	(      )	
	実績	2人	2人	6人		
達成状況説明	中川幼稚園の在園児8人中、就労家庭の6人の園児を受け入れすることができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
			○保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	(      )	(      )	( 80%以上 )
	実績			90%		
	【参考指標】 ○預かり保育内容にかかる幼児教育の成果について保護者へのアンケートを実施 目標:「子育て環境における満足度90%」以上	目標	(      )	( 90%以上 )	( 90%以上 )	(      )
実績			86%	98%		
進捗状況説明	H29年度まで3園で預かり保育事業を実施していたが、H30年度より2園がこども園化した為、1園での預かり保育事業となっている。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○H30年度から2園がこども園化したことにより、予算や事業の縮小があったが、1園で継続して実施することができた。</p> <p>○各アンケートにおいて、目標以上の満足度を達成しており、保護者の育児における負担の軽減が図られていると考える。</p> <p>○長期休業期間は、1日預かり事業を実施するため、2人体制では厳しい旨、現場からの意見がある。</p>	<p>○更なる保育環境の充実を図るため、保育指導員の確保、勤務体制の工夫が必要となる。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>長期休業期間も園児の預かり保育がスムーズにいくよう、委託事業者と連携を密にし事業を推進していく。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,157	3,147	2,517	630	10
<pre> graph LR     A[金武町 3,147千円] --&gt; B[委託料 3,147千円]     B --&gt; C[中川区長 3,147千円]     subgraph D [ ]         B --- E["3/30(土)指導員賃金 交付対象外経費 10千円"]     end </pre>					

資金の流 れ、点 検、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・用途については、妥当であったと考えている。○予算規模においては、事業内容に見合った適正な規模である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③ 特別支援教育支援事業		事業実施（予定）年度	平成24～令和3年度	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
	担当部課名	学校教育課		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)		
事業内容	町内各小中学校において支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学級担任と連携して適切な特別支援教育を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		(a) 当初予算額		30,042	32,044	58,081	58,081	38,053
		(b) 予算現額		30,042	29,386	58,081	58,070	31,108
		(c) 増減額(b-a)		0	▲ 2,658	0	▲ 11	▲ 6,945
		(d) 繰越額		—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)		30,042	29,386	58,081	58,070	31,108
		B. 執行済額		29,822	28,927	54,688	45,692	31,108
		うち交付金充当額		23,857	23,141	43,750	36,553	24,886
		次年度繰越額		—	—	—	—	—
		執行率(%) (B/A)		99.3%	98.4%	94.2%	78.7%	100.0%
予算の状況の説明		・当初支援員の配置人数を20名で計画していたが、18名に変更し変更後のとおり予算執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H30活動目標（指標）		達成状況					
	特別支援教育支援員配置数 ○小学校：13人 ○中学校：5人	目標	27年度	28年度	29年度	30年度		
		実績	幼稚園1人 小学校11人 中学校3人	幼稚園5人 小学校17人 中学校7人	幼稚園5人 小学校14人 中学校6人	小学校13人 中学校5人		
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
	達成状況説明		・町内小学校3校に13名、中学校に5名、計18名の特別支援教育支援員を配置し、必要な支援を行った。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H30成果目標（指標）		基準値（年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（年度）	
	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	( )	( )	( )	( 80%以上 )	( )	
		実績				86%		
	【参考指標】 学校評価における、特別支援教育に関する項目について、目標：「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」評価3以上(4段階評価)	目標	( )	( 3以上 )	( 3以上 )	( )	( )	
		実績		3.6	3.5			
進捗状況説明		・町内各小中学校において必要に応じ特別支援教育支援員を配置することができた。保護者へのアンケートでは、86%が学校生活や学習上の困難が改善されたと回答があり、目標を達成した。						

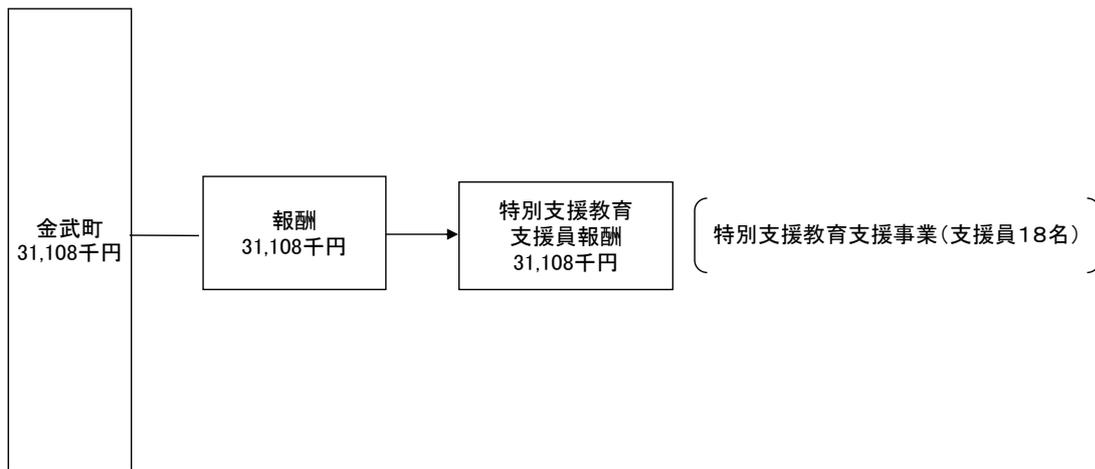
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・支援を必要とする幼児児童生徒の支援は、担任だけの対応は難しい状況であるため、知的障害、自閉症・情緒障害等個々の障がいの状態に応じ、特別支援教育支援員の配置が必要である。	・各学校に配置された特別支援教育支援員は、学級担任や養護教諭、また専門的知識を持った特別支援教育推進員との連携を深め、個々に応じた支援ができるよう努める。

**今後の取り組み方針**

・町内各小中学校に配置する特別支援教育支援員が、発達の障害や学習活動等に困り感のある幼児児童生徒に対して必要な支援ができるよう特別支援教育支援員の研修会等を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,108	31,108	24,886	6,222	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模においては、支援を必要とする幼児・児童・生徒数から鑑みて、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
	担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-7	
事業内容	<p>本町と海外移住国との友好親善及び人材育成に資することを目的に、海外移住者子弟等研修生の受け入れを実施する。研修期間は、8月から12月までの約4ヶ月間で、語学研修をはじめ研修生が希望または専門とする研修のほか、琉球舞踊や三線など、沖縄の伝統芸能について理解を深め習得を目指す沖縄文化教養研修を行う。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
		(a) 当初予算額	5,562	5,470			
	(b) 予算現額	5,562	5,470				
	(c) 増減額(b-a)	0	0				
	(d) 繰越額	-	-				
	A. 計(b+d)	5,562	5,470				
	B. 執行済額	4,838	5,244				
	うち交付金充当額	3,870	4,195				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	87.0%	95.9%				
予算の状況の説明	当初の計画通り、研修の委託をはじめとした事務費等を、予定通りに執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
	受入人数:3人	目標	( 6人 )	( 3人 )	( )	( )	
		実績	3人	3人			
	研修期間:約4ヶ月間	目標	( 4ヵ月 )	( 4ヵ月 )	( )	( )	
実績		4ヵ月	4ヵ月				
研修報告(閉講式):1回	目標	( 1回 )	( 1回 )	( )	( )		
	実績	1回	1回				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>受入人数については、前年度を踏まえて、研修生一人ひとりの要望に柔軟に対応できるよう3人の減を行い、今年度は目標人数の3人を受入れることができた。</li> <li>研修期間について、3人とも当初の予定通り8月14日から12月10日までの約4ヶ月間の研修を実施・修了することができた。</li> <li>研修報告である閉講式については当初の予定日より実施が早くなったが、問題なく実施することができた。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	H31年度	目標値(年度)
	受入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	( )	( )	( 80% )	( )	( )
		実績			100%		
	【参考指標】 ○研修報告会の実施(閉講式)	目標	( )	( 1回 )	( )	( )	( )
		実績		1回			
	【参考指標】 ○研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・日本語や伝統芸能・文化教養について興味を持った:75%	目標	( )	( 75% )	( )	( )	( )
		実績		100%			
	【参考指標】 ○研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・自分のアイデンティティやルーツを知ることができた:70%	目標	( )	( 70% )	( )	( )	( )
		実績		100%			
	【参考指標】 ○研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・当該事業を今後も継続してほしい:70%	目標	( )	( 70% )	( )	( )	( )
実績			100%				
【参考指標】 ○研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・帰国後は町人会等で研修について報告する:70%	目標	( )	( 70% )	( )	( )	( )	
	実績		100%				
進捗状況説明	<p>研修生へのアンケート実施で、「沖縄に来る前と研修後を比較して、沖縄の文化や歴史に興味を持ちましたか」という調査内容で、3人とも、とても興味を持ったという回答を得ることができ、目標の80%を達成することができた。</p>						

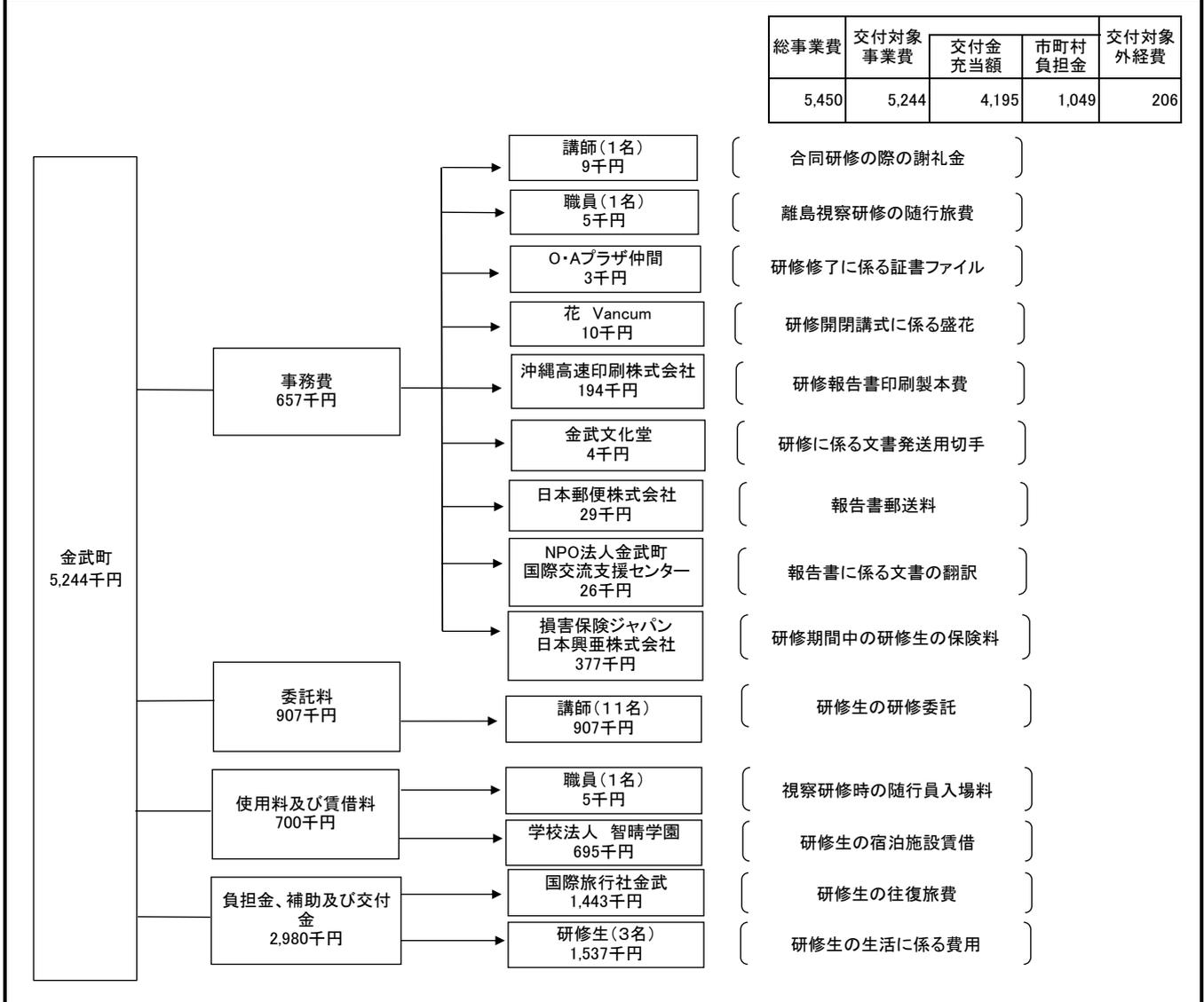
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート実施調査について、研修生として来沖前までは、沖縄の文化や歴史を知っているが、実際に見聞する機会及び実践する機会が少なかったために、目標の80%を達成したと考えられる。</li> <li>「特にどのようなことに興味をもったか」という答えの内訳では、研修として取り入れた日本語、三線や琉球舞踊の伝統芸能、食文化や沖縄独特のイベント(旧盆)の伝統文化等に興味をもったと3人全員が答えたことから、目標が上回ったと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修によって経験できたことで目標が達成したと考えられるため、今年度も引き続き、三線や琉球舞踊等、沖縄の伝統芸能の研修を取り入れてることで、今後も目標が達成されると考えられる。</li> <li>沖縄の文化について興味をもったという点ではアンケートの回答から目標達成と考えられるが、歴史については興味が薄いことがうかがえるため、目標達成に繋がるよう見直しが必要であると考えられる。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・今後も引き続き、三線や琉球舞踊の伝統芸能の研修を取り入れ、目標達成に繋げる。歴史について興味を持ったかを把握する点については、実践研修以外の座学研修や視察研修において、沖縄の歴史により興味を持つよう研修内容の見直し、事業の向上及び目標達成に繋げる。

・現況のアンケートでは、特にどのように興味を持ったかという回答に、「沖縄の歴史」と簡潔なものであり、具体的なことがわからないため、研修内容に加えアンケート内容の見直し、事業の向上及び研修内容の充実を図る。

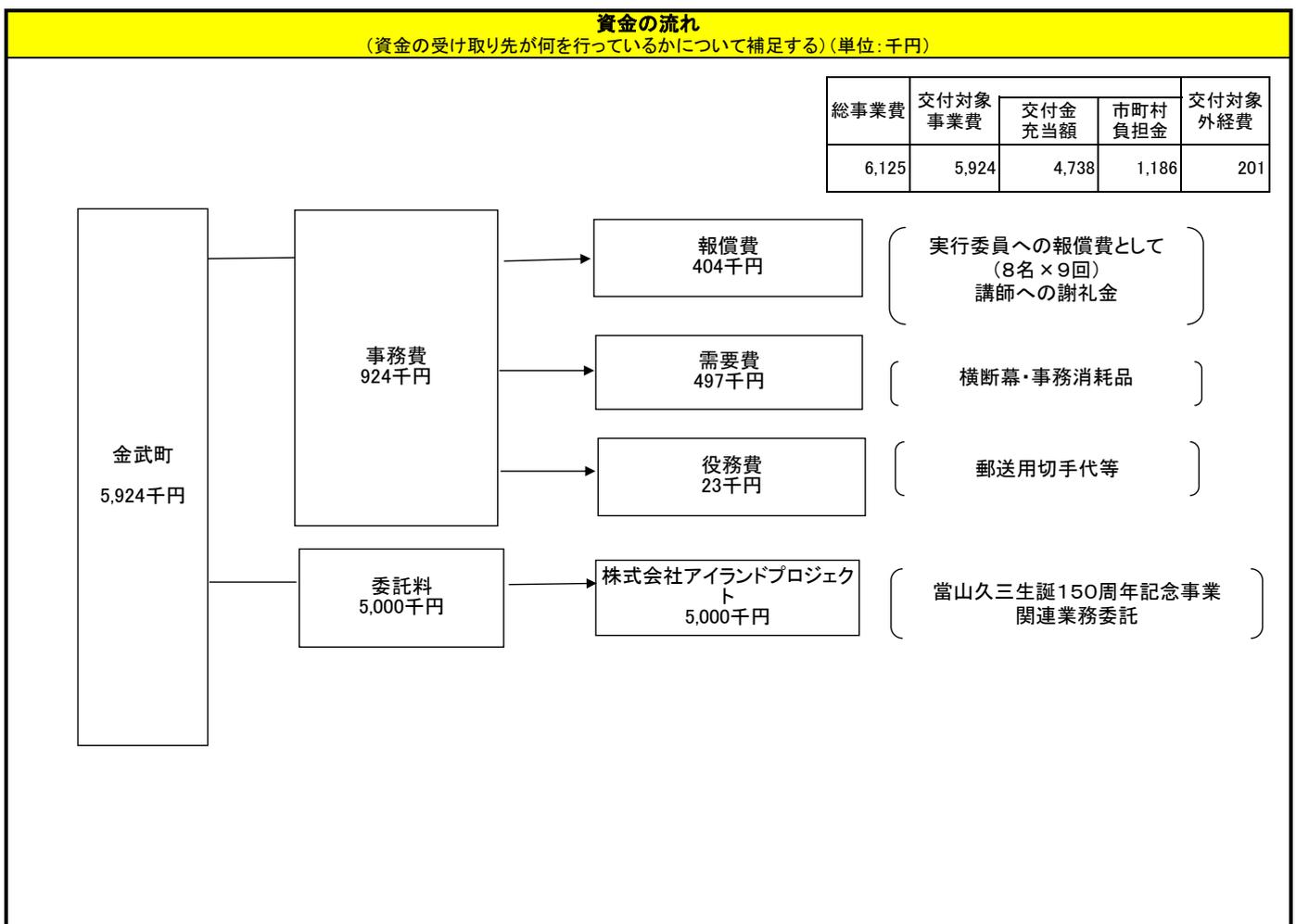
**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点れ、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各国からの推薦に基づき研修生を決定しており、妥当だったと考えている。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模について、研修期間及び人数を実施するために適正な規模であったと考えている。	
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・研修以外の経費については、研修生負担であることから、妥当であったと考えている。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については事業目的に即し必要な費用であったと判断している。	

市町村名	金武町		平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】				
事業番号・事業名	5-②	金武町移民の日記念事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア			
担当部課名	企画課	事業実施 (予定)年度	平成29~令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な 交流の推進		
事業内容	12月5日の「金武町移民の日」に、第1回移民を送り出した本町出身の當山久三の偉業をたたえ、顕彰するとともに、その功績を広く周知し、次世代の人材育成を目的とした公演、移民関係の展示を実施。 また、今年度は當山久三生誕150年という節目を迎えるにあたり、金武町まつり2日目に「當山久三生誕150年記念祭」を開催し、仮装パレードやステージイベントを実施した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,472	9,142			
		(b) 予算現額	2,755	5,924			
		(c) 増減額(b-a)	1,283	▲ 3,218			
		(d) 繰越額	-	-			
		A. 計(b+d)	2,755	5,924			
	B. 執行済額		2,338	5,924			
	うち交付金充当額		1,870	4,739			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		84.9%	100.0%			
予算の状況の説明		当初予定していた委託業務の一部を取りやめた為、補正及び計画変更を行い予算の減額を行った。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	・顕彰式の開催 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施	目標	(      )	( ・顕彰式の開催 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施 )	(      )	(      )	
		実績					
	【参考指標】 移民関連の学習会・公演等の実施		目標	(      1回      )	(      )	(      )	(      )
		実績	1回				
達成状況説明	本町の偉人である當山久三生誕150年記念祭の実施にあたり、「當山久三生誕150年記念事業実行委員会」を発足し、記念事業企画立案に取り組んだ。金武町まつりと同時開催で実施した事により、町内外の多くの人々へ當山久三の移民に関する偉業以外の功績や人物像について、広く周知する事ができた。 12月5日の移民の日には、顕彰式、移民関連資料の展示、南米料理の試食、海外移住者子弟等研修生の成果報告、演劇等を通し、移民偉業、移住者の当時の苦労体験等を周知する事が出来た。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値 (      年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (30年度)
	○参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	(      )	(      )	(      80      )	(      )	(      )
		実績				88%	
	【参考指標】 ○参加者に対してアンケートを実施 ・移民の歴史について知ることができた。		目標	(      )	(      75%      )	(      )	(      )
			実績		100%		
	【参考指標】 ○参加者に対してアンケートを実施 ・移住国に住むシマヌチュと交流したい。		目標	(      )	(      80%      )	(      )	(      )
			実績		60%		
	【参考指標】 ○参加者に対してアンケートを実施 ・移民の日記念事業に参加したい		目標	(      )	(      50%      )	(      )	(      )
			実績		53%		
	【参考指標】 ○参加者に対してアンケートを実施 ・移民について興味を持った		目標	(      )	(      75%      )	(      )	(      )
		実績		90%			
進捗状況説明	當山久三の偉業については、広く知られている事もあるが、今年度においては當山久三の生い立ちや職歴等についてもスポットをあてた事で、多くの方に、より人物像を理解して頂けたと考えている。また、移民の日講演会においては、海外移住者研修生及び青年海外派遣研修生も参加し、成果発表並びに南米料理の試食を行う事により、移民先における3世・4世との繋がりについて、周知及び再認識する事が出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>【移民に対する周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の移民の歴史について、興味を持たれていない方々に、どのような方法で参加してもらえるのか、周知方法を検討しなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移民に関心のある人が参加する事業ではなく、これまで移民について関心のなかつた人が、沖縄の移民を知るきっかけとなる事業を目指し、周知方法及び実施内容の充実を図る。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<p>これまで実施した講演会等に加え、新たな事業内容を展開する事で、当事業への参加者を増やしていいけるよう取り組む。その中で、移住国との繋がりを再認識する事により、町の国際交流事業との連携を生みだし、双方の人材育成に繋げたい。</p>		



資金の流 使途の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○事業の実施内容の変更等により、予算を減額して事業を実施したが、適正時期での計画変更と考えている。</p> <p>○費目や使途については、精算段階で検査しており、目的に即し、必要なものであった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	「金武町の偉人及び民話」絵本化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(ア)	
担当部署名	金武町教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成29~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	沖縄最後の任命行政主席「松岡政保」の生涯を絵本化することで、金武町の歴史や文化、精神を学び、沖縄を発展させた功績を後世に継承する。また、絵本に金武方言を取り入れ、島くとうばの継承を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		1,012	1,036			
			1,015	1,016			
			3	▲ 20			
			-				
		B. 執行済額	1,015	1,016			
		うち交付金充当額	811	812			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			
		予算の状況の説明	絵本郵送料が当初の見込みよりも下回ったため、20千円を減額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	H31年度		
	・町内学校全クラス61冊・県内公共図書館48冊・海外町人会35冊・その他(当図書館、大学図書館)56冊	目標	( 100% )	( 100% )	(      )	(      )	
		実績	100%	100%			
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
達成状況説明	絵本「松岡政保」を200部発行し、町内小学校全クラス、各区公民館、県内の各公共図書館、海外町人会、その他、合計170部を寄贈した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	29年度	30年度	R1年度	目標値(年度)
	町内小学校の4年生から6年生へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	(      )	(      )	( 80% )	(      )	(      )
		実績			91%		
	【参考指標】 ・配布した各施設において絵本の供用を行う	目標	(      )	( 実施 )	(      )	(      )	(      )
		実績		実施			
	【参考指標】 町内の各小学校で理解度アンケートを実施	目標	(      )	( 70% )	(      )	(      )	(      )
実績			85.8%				
進捗状況説明	町内の小学4年生～6年生を対象に、ボランティアによる読み聞かせを行い、アンケートを実施した。その結果、理解度が90%を超え、目標を上回る結果となり、絵本化の目的を達成することができた。学校での読み聞かせ以外にも、町内のイベントにおいて、絵本の完成報告を行ったほか、図書館文化講座で、「松岡政保」のゆかりの地をめぐる絵本ツアーを開催した。						

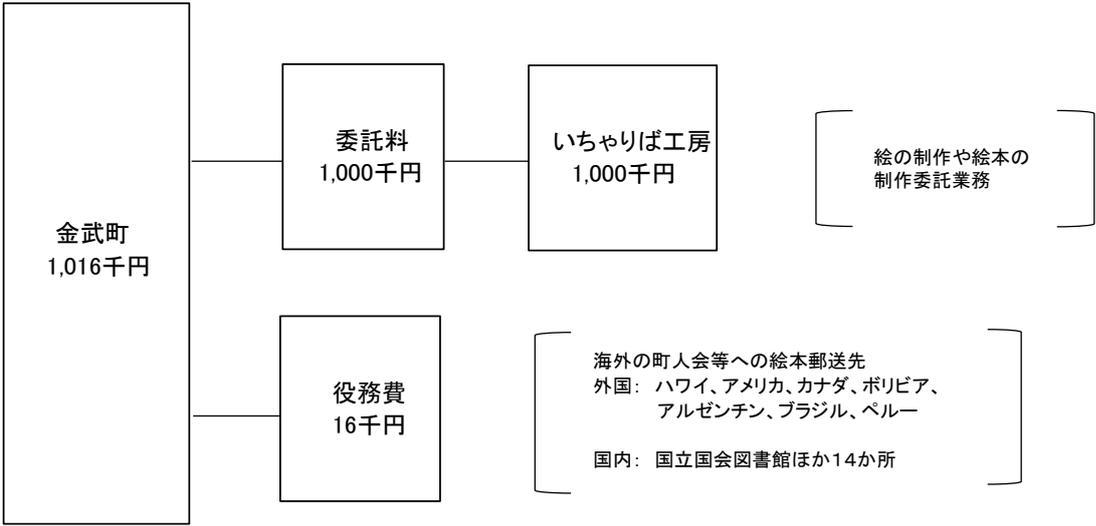
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>昨年度作成した絵本では、島くとうば継承のため金武方言を全編に取り入れた。ページごとに文字の大きさが異なり読みにくいとの指摘を受けた。部分的に島くとうばを取り入れるなどの工夫が必要である。</p>	<p>読みやすい絵本となるよう、今年度の絵本「松岡政保」では、本人の思いや話ことばなど、島くとうばを部分的に取り入れ文字の大きさを一定に保つ。</p>

**今後の取り組み方針**

今回の民話を活用した絵本作成では、子ども達が金武方言や町独特のユーモアや特異性に触れ親しめる絵本を作成する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,016	1,016	812	204	0



資金の流 れ、 点 検、 費 目・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は絵本制作の実績があり、親しみあふれる絵は子どもから大人まで大変好評で製本技術も高く、妥当である。 ○不用額が生じたが、事業を適正に実施しており、適正規模である。 ○事業目的を達成するために必要最小限の経費に限定しており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	